

平成 25 年度から授業アンケートが実施されます

実施の目的

児童・生徒の確かな学力を育むためには、すべての子どもにとって「魅力的な授業」「わかる授業」を実現することが重要です。

そのため、教員が常に自らの授業を振り返り、その改善に向けて向上心を持って取り組むことが必要です。教員が自らの授業を振り返るにあたっては、子どもたちや保護者、同僚教員等による授業に関する意見を参考にするなど、多様な観点からの授業検証が必要であり、その結果や課題を踏まえた上で授業改善に向けた取組みを進めることが重要です。

これらのことから大阪府教育委員会では、授業改善に役立てるとともに、教員の授業に関する評価の一資料とするため、各学校で授業アンケートを実施していただくこととしました。

実施の方法

- 小学校での授業アンケートは、児童に直接問うのではなく、保護者を通じて、授業に対する児童の受け止めをお答えいただきます。その際、児童の普段の様子、授業参観時の様子等も参考にさせていただくようお願いします。
- 中学校及び高等学校では授業に対する生徒の受け止めをお答えいただきます。なお、市町村教育委員会や学校の判断により、家庭配付（中学校のみ）することもあります。その場合であっても回答者は生徒とします。
- 支援学校や支援学級では、子どもたちの状況に応じて、授業アンケートの実施方法を工夫します。
- 授業アンケートは、原則として5月以降、夏休み前までの間に実施します。
- 授業アンケートは、選択肢の中から、もっともふさわしいものを選んでいただくものとしています。
- 回答者には責任ある回答をお願いしたいという趣旨から、授業アンケートの回答にあたっては、回答者名の記載をお願いしています。
- 授業アンケートの回収や集計は、校長（副校長）及び教頭（以下、校長等といいます。）が行うため、校長等以外の教職員に授業アンケートの回答内容が明らかになることはありません。

結果の活用

- 授業アンケートの結果は、回答者名が特定されないよう統計処理し、授業改善に向けた参考資料として活用します。
- 教員の授業に関する評価は、普段の授業の様子や年間を通じた授業に対する取組みなどを観察し、校長が責任を持って行います。授業アンケートの結果は、校長が評価を行う際の資料の一つとして活用します。

FAQ（これまでいただいたご意見より）

- 小学校での授業アンケートは、なぜ保護者を対象とするのですか。
授業参観以外で授業を見たことがないのに、どう回答すればいいのですか。

小学校では児童の発達段階を考慮し、児童に直接質問するのではなく、保護者を通じて児童の意見をお聞きすることとしております。

保護者の皆様には、児童の授業の受け止めに十分に聞きとっていただき、ご回答いただきますよう、ご協力願います。また、回答できない場合は「分からない」という選択肢を選んでいただけます。

- 授業アンケートに回答すると、誰が、何を回答したのか担任に分かってしまうのではないですか。

記入いただいた授業アンケートは、例えば「封筒に入れて提出し、開封は校長等が行う」、「校内に授業アンケートを提出するための鍵のついた提出箱を設置し、校長等が開錠する」等、回答者が特定されないよう工夫して回収するとともに、校長等が集計作業等を行うこととしています。個別の回答用紙を校長等以外の教職員が見ることはありません。

- これからは生徒や保護者が先生を評価することになるのですか。

授業アンケートの結果は、校長が教員の授業に関する評価を行うに当たっての資料の一つとして活用します。授業に関する評価は、授業の様子や年間を通した授業に対する取組姿勢等を観察し、校長が責任を持って行います。

授業アンケートの結果がそのまま教員の授業に関する評価となるわけではありません。

- 授業アンケートは必ず提出しなければならないのですか。

授業アンケートの提出は義務ではありませんが、子どもたちにとって「魅力的な授業」「わかる授業」の実現という趣旨をご理解の上、できる限りご協力いただきたいと思います。



大阪府教育委員会

大阪府教育委員会事務局 教職員室 平成25年5月発行
〒540-8571 大阪市中央区大手前二丁目 TEL06(6944)9861
ホームページアドレス <http://www.pref.osaka.jp/kyoshokuink/hyoukaikusei/index.html>
電子メール kyoshokuin@sbox.pref.osaka.lg.jp



大阪「こころの再生」府民運動
~大阪あったかプロジェクト~